



翠 風

壱岐市立霞翠小学校
学校便り (みどりのかぜ)
平成 28 年 11 月 24 日
No. 16 文責：豊島

学校教育目標：夢やあこがれを抱き、志の実現に向けて努力する霞翠っ子の育成

劇空間!! はじける演技 霞翠っ子オンステージ

22日に幼・小合同の霞翠っ子オンステージを開催しました。11月も下旬ということで冷え込みが予想されましたが、気温は20度近くまで上がり、見る方も演技する方も最高のコンディションでした。学校、保護者、地域の三者からなる**学校運営協議会（霞翠っ子育成協議会）**では、「**自己表現ができる子**」を最重点課題として取り組んでいます。そして、私は、夏休み明けの子どもたちとの出会いの日に、「**自分を好きになろう。**」と子どもたちに投げかけました。「自分を好きになる。」ということは、「**自分に自信を持つ**」が必要です。自分に自信が持てれば、「**自尊心**」も高まってきます。子どもたちは、ここまでの1か月近く、一生懸命オンステージに向けた練習に取り組んできました。その間、教師に与えられるだけではなく、**自分たちで、アイデア**を出したり、**小道具や背景を作ったりしながら、自分たちのものとして、自主的に取り組む姿**もたくさん見る事ができました。そして、当日のあの子どもたちの堂々たる演技へとつながったわけです。**仲間と共に創り上げ、大勢の前で演技できたことは、一人一人の子どもたちの確かな自信につながったこと**だと思います。御参観いただいた家族や地域の皆様、たくさんの御声援ありがとうございました。



1年 大きなかぶ



幼稚園 とんぼのめがね



2年 11月の花火



3年 ないた赤おに



全員 赤い屋根の家他



4年 まぬけ村物語



5年 壱岐の鬼風伝説



6年 銀のメダル

本物を聴く! 東京金管五重奏団演奏会

文化の秋です。市内でもさまざまな文化的行事が催されています。今年度、市内小学校4～6年生を対象として、県教育委員会の主催で**青少年劇場**が開催されました。今回は、プロによる金管楽器演奏会でした。**楽器を見るのも、生でその音を聞くのも初めての子が多く、熱心に聞き入っていました。**やはり、本物は違います。帰りのバスの中では、さまざまな感想が聞かれました。



お知らせとお願い

★学校評価（自己評価、学校関係者評価）のホームページ公開について【お知らせ】

前期（上半期）の学校の教育活動に関する**教職員の自己評価、霞翠っ子育成協議会委員による学校関係者評価**を行いました。コミュニティ・スクールに指定されている本校としては、広く地域皆様にお知らせしなければいけないところですが、紙媒体では、お金と公民館連絡便の手間がかかります。そこで、本校のホームページにアップしました。是非、ご覧いただき、御支援、御助言をいただければ幸いです。

★SNSによる個人情報の漏洩防止について【注意喚起】

スマホや 아이폰、タブレット等、携帯で持ち歩ける情報端末の普及によりいろいろと生活が便利になりました。反面、影の部分も出てきています。その一つが**個人情報の漏洩**です。学校行事等の様子をSNSを利用して、情報を共有される場合もあると思いますが、**個人が特定されるような情報発信（名前と顔が一致するような事例）は避けていただきますよう御配慮ください。**悪条件が重なると、犯罪につながるケースもあります。学校のホームページもその対象になりますが、その点については注意しながら、公開をしています。

校長室の窓から ……【勝本中の文化発表会を参観して】

先日、勝本中学校の文化発表会を参観しました。私も霞翠小に勤務して3年目になりますので、1、2年生の本校出身の生徒の姿を見るのは楽しみの一つです。

昨年も感じたことですが、今、**勝本中がとても輝いて見えます。**出演を指名された時の元気のよい返事、舞台へ上がる時の整然とした態度、指揮者との一体感、そして、何よりも生き生きとした表情。これらから伺えるものは、**中学校での充実した生活ぶり**です。確かに、卒業する時は、いい子ばかりだったのですが、中学校に入って、さらに成長しています。きっと、その陰には、先生方の心に響く熱心な御指導と保護者の皆様の温かい御支援があるものと思います。安心して、勝本中学校へ送り出せます。

と同時に、小学校として、**中学校へつなげるための基礎作りをしっかりとっておかなければ**とも考える次第です。中学校に行けば、勝本小、鯨伏小の子どもたちと一緒に、学校生活の中身もガラリと変わります。そのような**変化に対応できる子どもたちの心**を小学校に間に確立しておかなければいけません。小学校という一つの**学校単位で、物事を考えるのではなく、常に子どもたちの先を見通した教育活動をしていかなければいけない**ことを、勝中生徒の輝きを見ながら考えさせられた時間でした。